

教科目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	0章 算数から数学へ 【4時間】	①・自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。 ②・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現することができる。 ③・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだそうとしている。	定期テスト、単元テスト、提出物
5	1章 数の世界をひろげよう [正負の数] 【26時間】	①・正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。 ・正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 ・正負の数の四則計算をすることができる。 ・具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 ②・算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 ・正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。	定期テスト、単元テスト、提出物

6		③・正負の数の必要性和意味を考えようとしている。 ・正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト、単元テスト、提出物
	2章 数学のことは身につけよう [文字と式] 【19時間】	①・文字を用いることの必要性和意味を理解している。 ・文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。 ・文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。 ・簡単な1次式の計算をすることができる。 ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、読み取ったりすることができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。	
		③・文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
7	3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式] 【15時間】	①・方程式の必要性和意味を理解している。 ・方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 ・等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 ・移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 ・簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。 ・1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。 ・具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。 ・具体的な場面の問題において、解を吟味して解答としてよいことを判断することができる。	
		③・方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。 ・方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
9	4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例] 【23時間】	①・関数関係の意味を理解している。 ・比例、反比例について理解している。 ・比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	

10		③・関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。 ・比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト、単元テスト、提出物
11	5章 平面図形の見方をひろげよう 〔平面図形〕 【18時間】	①・平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 ・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
12		②・図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。 ・線対称な図形の性質をもとにして、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。 ③・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 ・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
1	6章 立体の見方をひろげよう 〔空間図形〕 【19時間】	①・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・立体図形の展開図や投影図について理解している。 ・柱体や錐体、球の表面積や体積を求めることができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
2		②・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。 ・空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。 ・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 ③・空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。 ・空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	
3	7章 データを活用して判断しよう 〔データの分析と活用〕 【11時間】	①・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。 ・累積度数、累積相対度数の必要性和意味を理解している。 ・代表値や範囲の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 ②・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。 ③・ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考えようとしている。 ・ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしたりしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を考えようとしている。	定期テスト、単元テスト、提出物

		・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	
	1年間のまとめ 【5時間】	① ・1年間で学んだ基礎的な概念や原理・方法を理解し、処理することができる。	定期テスト、提出物
		② ・1年間で学んだ内容を論理的に考察したり表現したりすることができる。	
		③ ・1年間で学んだ内容について問題解決の過程を振り返りかて検討しようとしている。	

定期テスト範囲（予定）

1学期期末考査	2学期中間考査	2学期期末考査	学年末考査
0章～2章	2章～4章	4章～5章	5章～7章

学習上のアドバイス

授業について ① 「聞く・書く・考える」というメリハリをしっかりとつける。質問を積極的にする。（挙手する。）自分の質問はみんなの質問だと思って遠慮なくしよう。 ② 問題を解く際、時間内で解き終わるよう頑張る。終わったら近くの人と確認し、分からなかったら解き終わった人や先生にヒントをもらう。 家庭学習のアドバイス ① 宿題に必ず取り組む。：習ったことを確実に定着させるためにも、宿題は必ず取り組みましょう。 ② 復習する。：その日に学習した問題を家で繰り返し解き、理解するようにしましょう。また、ワーク（問題集）にも取り組みましょう。 その他 ① 忘れ物をしない。：忘れ物をすると学習が滞り、授業に集中できず、自分が困ることになります。 ② 提出物の期限を守る。：提出物は基本的に評価材料になるため、期限に遅れないように、また指示された通りしっかりやりましょう。不足の場合は再提出を求めることもあります。また期限遅れは減点対象になります。 ③ 学習の定着度を確認するため、単元テストを適宜行います。いつ、どの内容かは予告しますので、学習して臨みましょう。

教科目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解したうえで、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分析と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数量の関係や法則などを考察したり、数学的な推論の過程に着目して図形の性質や関係を論理的に考察し表現したりすることができる。また、関数関係に着目し、表、式、グラフに関連付けて考察したり、データの分布やその傾向を比較して批判的に考察したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりすることができる。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりできる。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1章 文字式を使って説明しよう [式の計算] 【15時間】	①・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	定期テスト 単元テスト 提出物
5		②・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	
		③・文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	2章 方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式] 【12時間】	①・二元一次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。 ②・一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立二元一次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	定期テスト 単元テスト 提出物

6		③・連立二元一次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・連立二元一次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立二元一次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	3章 関数を利用して問題を解決しよう [1次関数] 【19時間】	①・一次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・一次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ②・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ③・一次関数の必要性和意味を考えようとしている。 ・一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 単元テスト 提出物
7			
	4章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同] 【15時間】	①・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ②・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。 ③・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 単元テスト 提出物
9			定期テスト 単元テスト 提出物
	5章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形] 【21時間】	①・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・定義やことからの仮定と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。 ②・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・証明を読んで新たな性質を見出し、表現することができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。 ③・証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
10			定期テスト 単元テスト 提出物
	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率] 【9時間】	①・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。 ②・同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。	
11			定期テスト 単元テスト 提出物

12		確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	
		③・場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ・不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
1	7章 データを比較して判断しよう [データの比較]	①・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	定期テスト 単元テスト 提出物
2	【5時間】	②・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ③・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
3	1年間のまとめ 【9時間】	①・1年間で学んだ基礎的な概念や原理・方法を理解し、処理することができる。 ②・1年間で学んだ内容を論理的に考察したり表現したりすることができる。 ③・1年間で学んだ内容について問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期テスト 提出物

③定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考查 1章～2章	2 学期中間考查 3章～4章	2 学期期末考查 4章～5章	学年末考查 5章～7章
-------------------	-------------------	-------------------	----------------

学習上のアドバイス

<授業について>

- ① 「聞く・書く・考える」というメリハリをしっかりとつける。発問、質問を積極的にする（挙手する）。自分の質問はみんなの質問だと思って遠慮なくしましょう。
- ② 問題を解く時は、時間内で解き終わるように頑張しましょう。終わったら近くの人と確認し、分からなかったら解き終わった人や先生にヒントをもらうようにしましょう。

<家庭学習のアドバイス>

- ① 宿題に必ず取り組む。：習ったことを確実に定着させるためにも、宿題に取り組む必ず提出しましょう。
- ② 復習する。：その日に学習した問題を家で繰り返し解き、できるようにしましょう。また、ワークブックにも取り組みましょう。

<その他>

- ① 忘れ物をしない。：忘れ物をすると学習が滞り授業に集中できず、自分が困ることになります。
- ② 提出物の期限を守る。：提出物は基本的に評価材料にするため、期限に遅れないように、また指示された通りしっかり取り組みましょう。不足の場合は再提出を求めることもあります。また期限遅れは減点対象になります。
- ③ 学習の定着度を確認するため、単元テストを適宜行います。いつ、どの内容かは予告しますので、準備しておきましょう。

令和6年度 第3学年 数学科 シラバス

教科目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	1章 文字式を使って説明しよう [多項式] 【20時間】	①・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ・簡単な1次式の乗法の計算及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
5		②・既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。	
		③・式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。 ・式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
6	2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] 【17時間】	①・数の平方根の必要性和意味を理解している。 ・有理数、無理数の意味を理解している。 ・数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。	定期テスト、単元テスト、提出物

7 8 9 10		②・これまでに学んだ文字式の計算などに関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	
	3章 方程式を利用して問題を解決しよう [2次方程式] 【16時間】	①・二次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ・平方の形に変形し二次方程式を解くことができる。 ・解の公式の意味を理解し、それを用いて二次方程式を解くことができる。 ・因数分解を利用して二次方程式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、二次方程式をつくることことができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・平方根や因数分解の考えをもとにして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・具体的な問題の解決に二次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。	
		③・2次方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ・2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	4章 関数の世界をひろげよう [関数 $y=ax^2$] 【18時間】	①・関数 $y=ax^2$ について理解している。 ・事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを知っている。 ・関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・関数 $y=ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見出し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	
		③・関数 $y=ax^2$ の必要性と意味を考えようとしている。 ・関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	5章 形に着目して図形の性質を調べよう [相似な図形] 【24時間】	①・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ・相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 ・基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。 ・誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を $a \times 10^n$ の形に表現することができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・平行線と線分の比についての性質を見出し、それらを確かめることができる。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	

1 1		③・図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。 ・図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	6 章 円の性質を見つけて証明しよう [円] 【11時間】	①・円周角と中心角の関係を理解し、それが証明できることを知っている。 ・円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・円周角と中心角の関係を思い出することができる。 ・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	
③・円周角と中心角の関係を思い出そうとしている。 ・円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。			
1 2	7 章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理] 【14時間】	①・三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ・三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ・三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・三平方の定理を思い出することができる。 ・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	
		③・三平方の定理を思い出そうとしている。 ・三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
1			
2	8 章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査] 【7時間】	①・標本調査の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	
		③・標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 ・標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
3	3 年間のまとめ 【13時間】	①・3年間で学んだ基礎的な概念や原理・方法を理解し、処理することができる。	定期テスト、単元テスト、提出物
		②・3年間で学んだ内容を論理的に考察したり表現したりすることができる。	
		③・3年間で学んだ内容について問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考查	2 学期中間考查	2 学期期末考查	学年末考查
1, 2 章	2 章～4 章	4 章～6 章	6 章～8 章

学習上のアドバイス

授業について

- ③ 「聞く・書く・考える」というメリハリをしっかりとつける。質問を積極的にする（挙手する）。自分の質問は、みんなの質問だと思って遠慮なくしよう。
- ④ 問題を解く際、時間内で解き終わるよう頑張る。終わったら近くの人と確認し、分からなかったら解き終わった人や先生にヒントをもらう。

家庭学習のアドバイス

- ③ 宿題に取り組む。：習ったことを確実に定着させるためにも、宿題は必ず取り組みましょう。
- ④ 復習する。：その日に学習した問題に家庭で再度取り組み、自分で解くことができるようにしましょう。また問題集にも取り組みましょう。

その他

- ④ 忘れ物をしない。：忘れ物をすると、学習が滞り授業に集中できず、自分が困ることになります。
- ⑤ 提出物の期限を守る。：提出物は基本的に評価材料にするため、期限に遅れないように、指示されたとおりにしっかりと取り組みましょう。不足の場合は再提出を求めることもあります。また期限遅れは減点対象になるので注意しましょう。
- ⑥ 学習の定着度を確認するため、単元テストを適宜行います。いつ、どの内容かは予告しますので、しっかり学習しておきましょう。